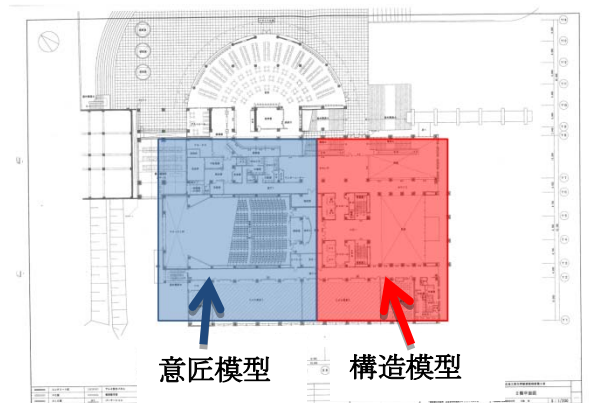


Nexus21 の構造模型の製作/EDM

1. 模型仕様の決定

全てを構造模型で再現する予定であったが、何の模型が分かりづらい、構造と内装との関係がわからないなどの意見があった為半分を構造模型、もう半分を意匠模型で再現する仕様に変更した。

それに伴い、当初別で作る予定であったダンパー模型を意匠部分で表現することとなった。



2. 設計図書入手及び現地調査

模型を製作していく為に設計図書を手入れし、構造体の仕様や各部寸法などを調べた。

また設計図書にのっていない部分に関しては現地調査を行い、データを取った。



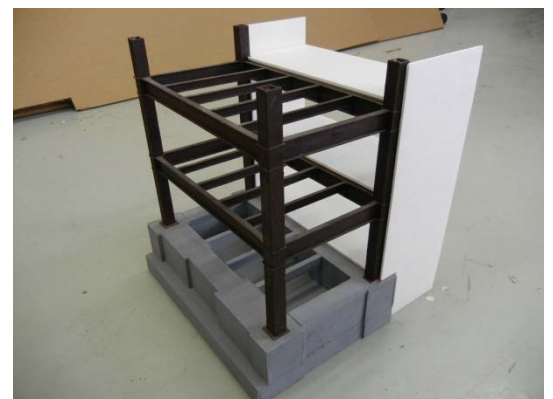
3. プレ模型の製作

1、2で決めた仕様のチェックを兼ねてプレ模型の製作を行った。製作した模型を見直した結果、以下のような問題点が見つかった。

- 問題
- 基礎部のつなぎ目の処理
 - 柱部の強度不足
 - 鋼材の発色



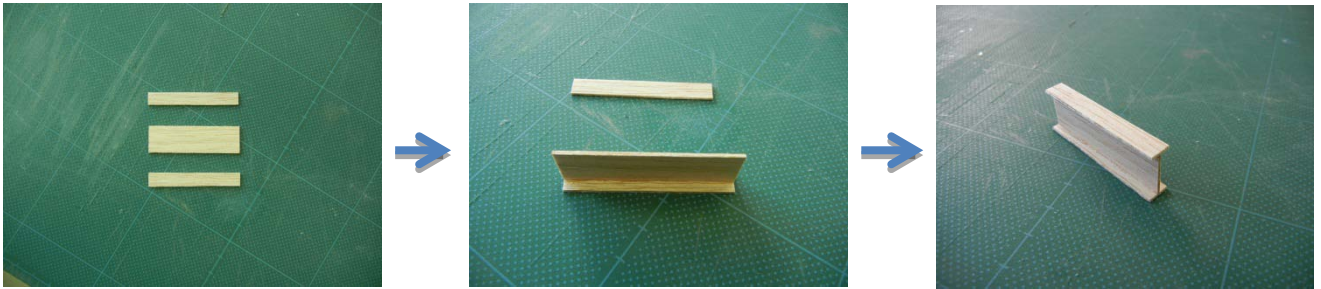
- 改善
- つなぎ目をセメント材で処理する
 - 柱部の材を変更
 - さび止め塗料の色に変更



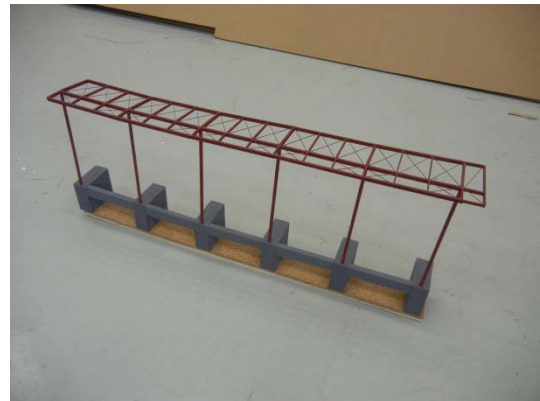
プレ模型写真

4. 構造模型の製作

構造部分は Nexus21 の正面入口からデネブホール入口手前までとなっている。
選定理由は、1階エントランスや3~10階の大講義室、小講義室等があり構造の理解に適している為である。



H型鋼の作成過程



完成した構造部模型

5. 意匠模型の製作

意匠部はデネブホール入口から新1号館側入口までの部分となっている。

選定理由は、デネブホールや吹き抜けなどがあり、意匠的にもわかりやすい為である。

意匠部はまだ製作途中であり、現在はデネブホール部分を作成中である。

